

市町村名	竹富町
------	-----

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	妊産婦支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ
担当部課名	健康づくり課	事業実施(予定)年度	平成24~30年度	子育てセーフティネットの充実
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4

事業内容
妊婦が安心して出産を迎えられるよう、妊婦健康検診受診時の船舶及び航空機運賃並びに出産待機宿泊費について支援し、経済的負担軽減を図る。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	3,300	2,403	3,208	2,191	2,591
	(b) 予算現額	2,776	2,824	2,103	2,629	2,591
	(c) 増減額(b-a)	▲ 524	421	▲ 1,105	438	0
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)	2,776	2,824	2,103	2,629	2,591
	B. 執行済額	1,563	2,451	1,715	1,802	1,601
	うち交付金充当額	1,250	1,960	1,372	1,441	1,281
	次年度繰越額	—	—	—	—	—
	執行率(%) (B/A)	56.3%	86.8%	81.6%	68.5%	61.8%
予算の状況の説明	・不用額については、毎年度妊婦及び申請数は安定するものではないことから、予算残があったと考えられる。					

活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		・交通費支援	目標 (50件 350回)	(50人)	(55人)	(55人)
	実績	48件 377回	34人	43人	39人	
・宿泊費支援	目標 (20件 400日)	(20人)	(20人)	(20人)		
	実績	26件 549日	18人	21人	17人	
達成状況説明	交通費支援、宿泊費支援は目標を達成することはできなかったが、妊婦の経済的な負担軽減を図ることが概ねできたと考える。 令和元年度(2019年度)からは別の補助事業を以て対応する。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(26年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(2019年度)	
		交通費支援55人	目標 (48人)	(50人)	(55人)	()	(—)
		実績		34人	43人		
	宿泊費支援20人	目標 (12人)	(20人)	(20人)	()	(—)	
		実績		18人	21人		
	渡航費が必要な人への支援率100%	目標 ()	()	()	(100%)	(—)	
	実績				100%		

進捗状況説明
・令和元年度(2019年度)からは別の補助事業を以て対応する為、事業縮小となる。
・平成30年度申請者交通費39名、宿泊費17名全員への支援を行った。

市町村名							
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	健康診査用機材輸送事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	健康づくり課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備	
事業内容	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,620	3,840	3,840	3,894	3,900
		(b) 予算現額	3,763	3,569	3,892	3,705	3,696
		(c) 増減額(b-a)	143	▲ 271	52	▲ 189	▲ 204
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		3,763	3,569	3,892	3,705	3,696
	B. 執行済額		3,759	3,568	3,892	3,412	3,696
	うち交付金充当額		3,007	2,854	3,113	2,729	2,956
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.9%	100.0%	100.0%	92.1%	100.0%
予算の状況の説明		天候不良による影響で契約の変更等が生じ、当初予算より減じたものの適切な予算措置を実行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	検診機材搬送年3回実施(検診3回×5島6地区=18件)	目標	(18件)	(18件)	(18件)	(18件)	
		実績	18件	18件	18件	18件	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・住民健診、胃がん検診、婦人がん検診実施時に、石垣島より町内各島を經由し検診機材を貨物船にて運搬した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(26年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	集団検診受診者数 2,134人	目標	(1645名)	(1700名)	(2134名)	(2134名)	()
		実績		1951名	1417名	1462名	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・事業実施により、多数の各島住民が住民健診を受けることができ、健康増進及び経済的負担を減らすことができた。 ・受診者数(住民健診1037名・婦人がん検診281名・胃がん検診144名)						

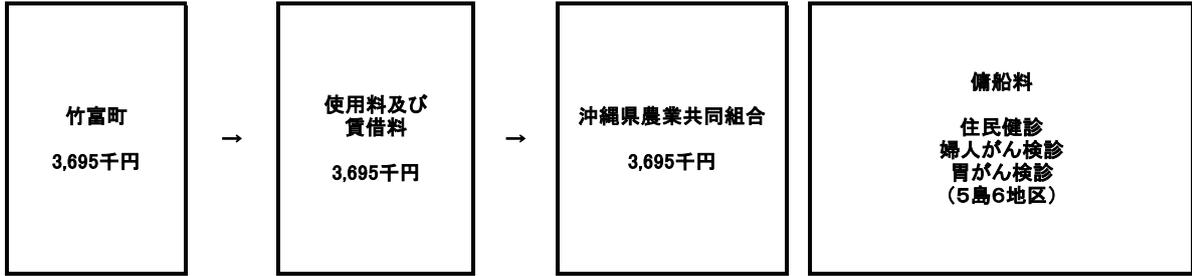
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・近年の健康増進に対する住民の意識も高まりつつあるものの、島嶼環境にある本町では、1日しか受診できない島がほとんどで、受診対象者が都合の良い日に他の会場で受診する等の予備的な日程が確保され難いことから、受診率が低い状態である。</p>	<p>・検診業務については外部委託で、かつ受託者は他市町村の業務も受託していることから、検診日程の延長等は難しい状況である。その為、年間スケジュールの早期確定と広報誌・町HPを介した早期告知、検診前日及び当日に各種無線等を用いた知らせ等、通知を徹底する。</p>

今後の取り組み方針

・事業実施の前年度の内に年間スケジュールを確定し、各種媒体による通知、各公民館へのスケジュール提供、診療所への掲示等を行う。
 ・婦人がん検診等、他事業によって無料クーポンが発行される対象者については、早期に配布し受診勧奨を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,695	3,695	2,956	739	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・事業実施3回中1回を見積りによる競争を行ったが、全ての事業で昨年度に引き続き同じ受託者となった。 ・予算規模は昨年度とほぼ同程度で、適正な規模であったといえる。 ・費目・使途は検査により確認されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 竹富町

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名: 1-③ 竹富町お出かけサポートモデル事業
担当部課名: 福祉支援課
事業実施(予定)年度: 平成26~30年度
沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所: 第3章-1-(7)-ウ
沖繩振興基本方針該当箇所: III-4

事業内容: 高齢者及び障害者等の外出機会増加による、自立生活助長を図るため、予約制の送迎サービスをお出かけサポートモデル事業として、西表島西部及び東部地区にて実施する。

効果発現年度: 当年度 [x] 後年度()年度

実施方法: 直接実施 [] 委託 [x] 補助 [] 負担 [] その他 ()

Table with 7 columns: 年度 (H26-H30), 予算額・執行額 (単位:千円), 状況 (a-d, A, B, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率). Includes a note on budget status.

Table for activity goals and achievement status. Columns: H30活動目標(指標), 達成状況 (H27-H30年度), 送迎サービス, アンケート調査.

Table for achievement goals and progress status. Columns: H30成果目標(指標), 基準値(年度), H27-H30年度, 年間利用者数, サービス提供エリア, 本格運行に向けた利用料金, アンケート結果.

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関が少なく、集落間が離れているため事業に対する評価がとて高かった。 アンケートの実施方法に検討が必要である。集計数の少なさを、利用が遠のいている人への調査などが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 西表島において、一定の評価がなされたので、他島への事業拡大を検討する。 アンケートの配布を登録者全体へ実施し、課題の把握に努める。

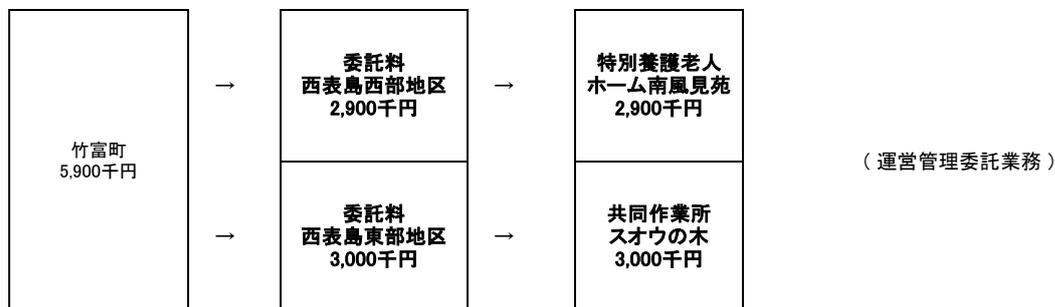
今後の取り組み方針

- 西表島以外の島への事業拡大に向け、住民のニーズや事業が可能な事業所との調整を行い、シミュレーションを実施する。
- アンケートの実施方法を見直し、全登録者へのアンケート配布を行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,900	5,900	4,720	1,180	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 委託事業者は、実績、地域等を勘案し規則に沿って選定し妥当であった。 見積書により予算積算は行われ、適正規模であった。 費目、使途については事業目的達成の観点から必要経費額の確定時において支出等に関する書類を検査し適当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④		竹富町民等船賃負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
	担当部署名	政策推進課		事業実施(予定)年度	平成27年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減
事業内容		島々を結ぶ高速船の船賃をJR料金並みにすることで、竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減すると共に、生活の利便性を確保する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	57,400	88,638	104,724	114,609	
	(b) 予算現額	69,600	108,696	114,244	114,609		
	(c) 増減額(b-a)	12,200	20,058	0	0		
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	69,600	108,696	114,244	114,609		
	B. 執行済額	58,668	93,573	96,777	89,584		
	うち交付金充当額	46,934	74,858	77,421	71,667		
	次年度繰越額	-	-	-	-	-	
	執行率(%) (B/A)	84.3%	86.1%	84.7%	71.60%		
予算の状況の説明	2月末日までを交付金対象とし、3月分は単費で対応。3月までの支出は98,030千円であり、執行率は78.4%であった。前年度(4月から9月)の実績を基に積算を行ったが、前年度より利用者数が1万4千人余り少なく、船の欠航を含む町民の動向などが掴みにくいこともあり、執行率が71.6%となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	地域住民等の高速船船賃の一部支援	目標	(町民等の船賃の支援)	(船賃の一部支援)	(船賃の一部支援)	(船賃の一部支援)	
		実績	町民等の船賃の支援	船賃の一部支援	船賃の一部支援	船賃の一部支援	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	町民の生活に欠かせない高速船での移動にかかる船賃を一部支援し、負担軽減及び生活の利便性向上へ繋がった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値 (H26年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (年度)	
		対象航路の利用者数の増加 127,680人(基準年度H27)→134,000人(5%増) ※95,762÷9か月×12か月=127,682人	目標	(89,407人)	(125,200人)	(134,000人)	(80%)
		実績		145,338人	147,325人		
	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、事業の在り方を検証	目標	()	()	()	(80%)	()
		実績				90.5%	
	進捗状況説明	H30では利用者へのアンケートで、船の利便性が確保されたかを含め事業のあり方を検証した。結果、船の利便性と事業の継続を希望する回答が90.5%であり、本事業を通して船の利便性が確保されていることが明らかになった。					

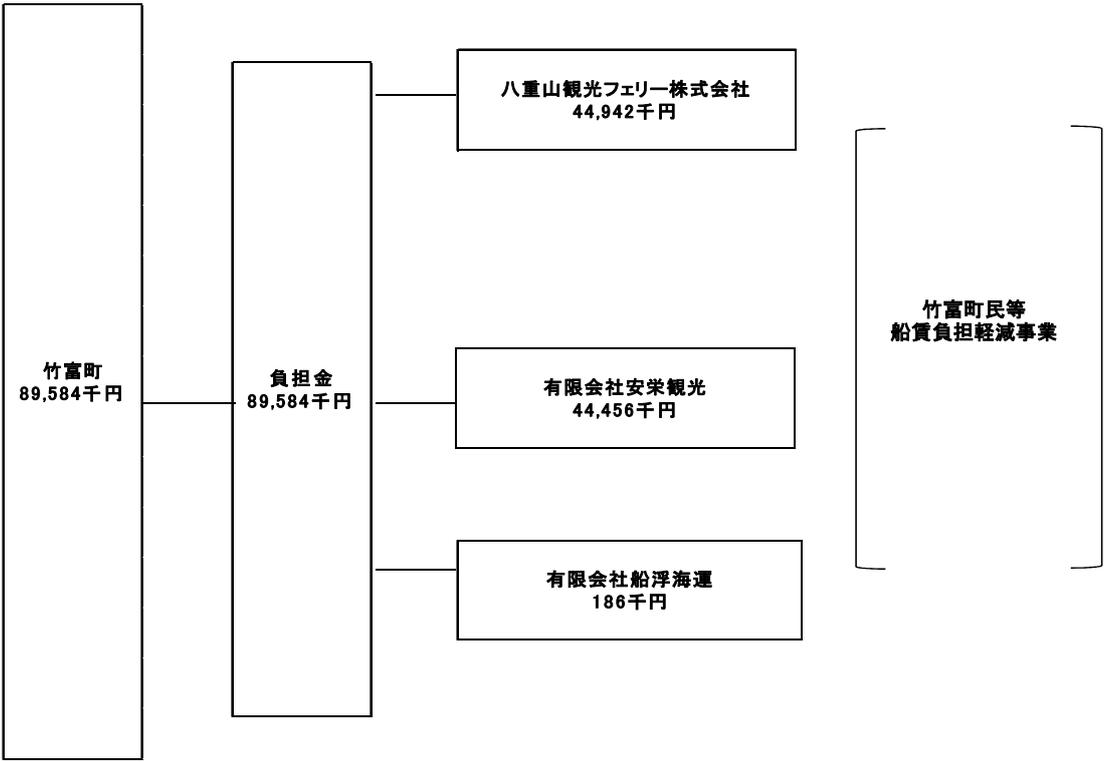
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年10月からの増税に伴い、船賃の値上げが考えられ、混乱が発生する恐れがある。 ・以前からの課題でもあるが、現在の離島割引の申請は紙媒体の為、申請書の記入に時間を要し、特に高齢者は負担が掛かっている。チケット購入に係る時間の短縮、作業の簡略化を目指す必要がある。 ・申請書は5年分の保存が必要だが、船会社で場所の確保も課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・船賃値上げによる住民の混乱を防ぐため、各メディア(新聞記事・町の広報)や町内無線を通して周知徹底を行う。 ・システム(QRコード)を導入することで、チケット購入がスムーズとなり住民・船会社の負担軽減に繋がる。今まで手作業でチケットの利用枚数を数えていたが、利用実績に係る帳票作業がシステム化され、作業が簡略化される為、時間・労力・人件費の削減に繋がる。(システム(QRコード)導入は、別事業で対応) ・紙媒体の申請書からシステム(QRコード)に移行することにより、保管場所の問題も解決できる。

今後の取り組み方針

・12月までに各島の住民を対象に、竹富町民等船賃負担軽減事業に係るアンケート調査をする予定である。アンケート調査で得た情報を基に、町民割引に関する島の意見や要望等を把握し、各島のチケット販売者・船会社の担当者と連携をとり、システム導入の方向性を調整する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
89,584	89,584	71,667	17,917	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、町内に航路を有する全ての船会社であり、妥当といえる。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○減額の判断を誤り、多くの不用額が発生したため。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○料金設定をJR料金並みとする為、町民の利便性、公平性からも妥当といえる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については、町民の船賃負担軽減に必要なものに限定されていた。

市町村名	竹富町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	干立地区防災機能改善事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(3)-エ	
担当部署名	防災危機管理課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	情報通信基盤の整備	
事業内容	西表島干立地区の金座山に津波避難施設を整備し、津波等の自然災害に対する防災力の向上を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	H31年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)		10,000	14,904			
			9,828	14,796			
			▲172	▲108			
			—	0			
			9,828	14,796			
	B.執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		9,828	14,796			
			7,862	11,836			
			0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	執行率は100%で適正な予算規模だと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	H31年度	R1年度	
	環境モニタリング調査業務実施	目標	(業務実施)	()	()	()	
		実績	業務完了				
	工事基本設計業務実施	目標	(業務実施)	()	()	()	
		実績	業務完了				
	測量基本調査業務実施	目標	(業務実施)	()	()	()	
		実績	業務完了				
	避難路調査実施設計の実施	目標	()	(業務実施)	()	()	
		実績		業務完了			
達成状況説明	過年度実施された概略設計成果を踏まえ、設計条件となる基本事項(必要な機能、構造、材料等における基本仕様、適用基準等)を把握すると共に、同時実施する測量・地質調査・自然環境調査の各結果も踏まえて実施設計を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	H31年度	目標値(R2年度)
	環境モニタリング調査業務実施	目標	()	(業務実施)	()	()	()
		実績		業務完了			
	工事基本設計業務実施	目標	()	(業務実施)	()	()	()
		実績		業務完了			
	測量基本調査業務実施	目標	()	(業務実施)	()	()	()
		実績		業務完了			
	避難路調査実施設計の完了	目標	()	()	(業務実施)	()	()
		実績			業務完了		
	【R2成果目標】 整備した避難路を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	(業務実施)	()	(2回以上/年)
実績			業務完了				
進捗状況説明	避難路は、現況の石積み階段を改良し上部はデッキ構造とする方針とした。また、当該事業地の動植物の生息・生育状況を詳細に把握し環境保全に最大限配慮した実施設計を行った。						

市町村名	竹富町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	竹富町救急患者輸送車両(救急車)導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	防災危機管理課	事業実施(予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 III-10-2		
事業内容	消防団の防災対応力強化を図るため緊急車両(救急車)を導入し、地域住民と観光入域者の安心・安全な環境の整備を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		17,428				
			14,030				
			▲ 3,398				
			0				
			14,030				
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		13,896				
			11,117				
			0				
	執行率(%) (B/A)		99.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	執行率は99%で適正な予算措置で事業が執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	H31年度	R年度	R年度	
	救急患者輸送車両(救急車)の導入実施	目標	(導入実施)	()	()	()	
		実績	導入完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	計画期間内に仕様書のとおり緊急車両(救急車)を西表島大原地区へ導入できた。(1台)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度		目標値(年度)	
	救急患者輸送車両(救急車)の導入	目標	()	(導入実施)	()	()	()
		実績		導入完了			
	【R1成果目標】 家族や付添人に対して、安全性が確保されていたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	目標	()	()	(80%)	()	()
		実績					
進捗状況説明	西表島大原地区への緊急車両(救急車)を導入が完了した。(1台)						

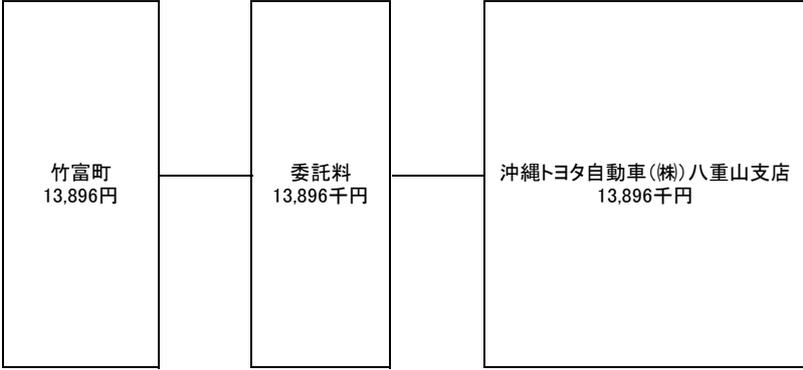
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	非常備消防である本町は、緊急搬送業務も分団が行っているため急患発生時の搬送業務体制の確立及びスピード化が課題である。よって、特殊車両を導入し対応したが構造や医療装備品等が特殊なため運用する分団員の専門知識の習得が課題である。	新しく導入した特殊車両の構造や医療機器装備品の取り扱いに慣れ適正に運用するため、分団員に対する使用訓練を年3回行う。また、分団員の入退団の状況により必要に応じて使用訓練を開催し、使用技術の習得を図る。

今後の取り組み方針

使用訓練を年3回及び、入団時の訓練を行う。
 救急患者発生時、診療所医師の指示により診療所からヘリポートへの緊急搬送を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,896	13,896	11,117	2,779	



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定したが入札不調であった為、見積入札で決定し、妥当であったと考えている。 ○入札前に車両装備品の見直しを行ったが適正な予算規模であったと考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	西表東部公園整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	定住条件整備プラン	
事業内容	地域においてワークショップを行い、住民、児童達の要望を取り入れ、巨大ヤマネコを利用したすべり台、ボルタリング等の遊具の整備やスポーツ広場、健康広場、駐車場、休憩所、便所等の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当該年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	12,965	61,060			
		(b)予算現額	12,030	52,829			
		(c)増減額(b-a)	▲935	▲8,231			
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		12,030	52,829			
	B. 執行済額		11,612	52,827			
	うち交付金充当額		9,288	42,262			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		96.5%	99.9%			
予算の状況の説明		当初予算からの減額は公園規模の縮小により用地買収面積が減となりましたが、事業内容を遂行し適切な予算であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			29年度	30年度	31年度	32年度	
	公園整備基本設計作成	目標	(作成実施)	()	()	()	
		実績	作成実施				
	公園整備実施設計作成	目標	(実施)				
		実績	実施				
用地取得業務の実施	目標	()	(実施)	()	()		
	実績		実施				
達成状況説明	地域住民ワークショップ及び公園基本設計を基に、実施設計を実施し、用地取得業務も実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	29年度	30年度	31年度	目標値(R4年度)
	西表東部公園整備実施設計の完了	目標	()	(基本設計完了)	(実施設計完了)	()	()
		実績		基本設計完了	実施設計完了		
	用地取得業務の完了	目標	()	()	(完了)	()	()
		実績			完了		
	【R4成果目標】施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()	()	()	(80%)
実績							
進捗状況説明	公園実施設計においては、前年度の地域住民とのワークショップ及び基本設計を基に実施設計を実施し、用地取得業務も完了し、H31年度から整備工事を行う。						

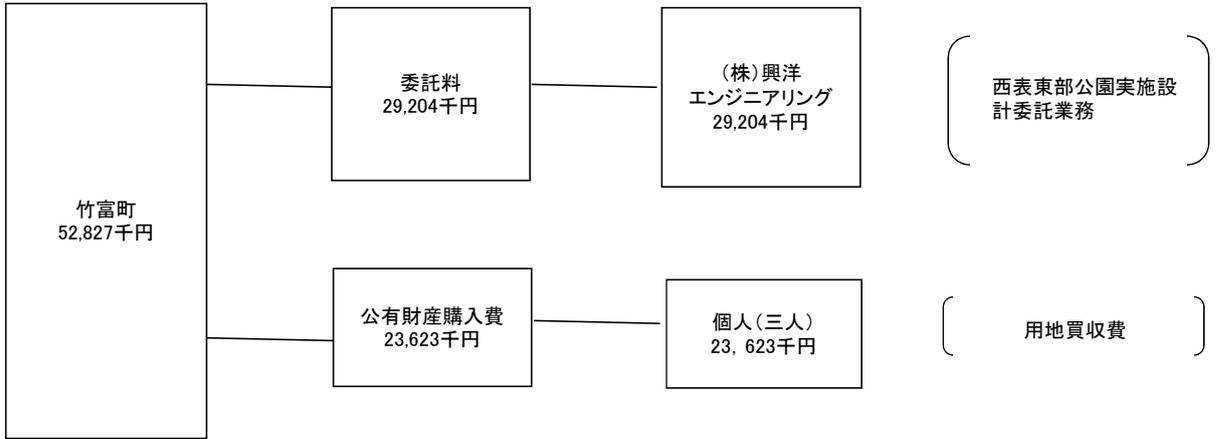
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	児童公園などのような遊び場が無い西表島東部において、地域住民の要望でもある児童及び幼児のための安心・安全な公園の実施設計である。	ワークショップで意見を十分に活かした、お年寄りから児童、幼児までが利用出来るような内容での公園の実施設計を行なった。

今後の取り組み方針

実施設計に基づき、H31年度から整備工事に着手していく。まずは公園敷全体の造成工事を行い、工区を分けて工事が遅れないよう工事発注を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
52,827	52,827	42,262	10,565	0



資金の用途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は適正な規模であった。 ○費目、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

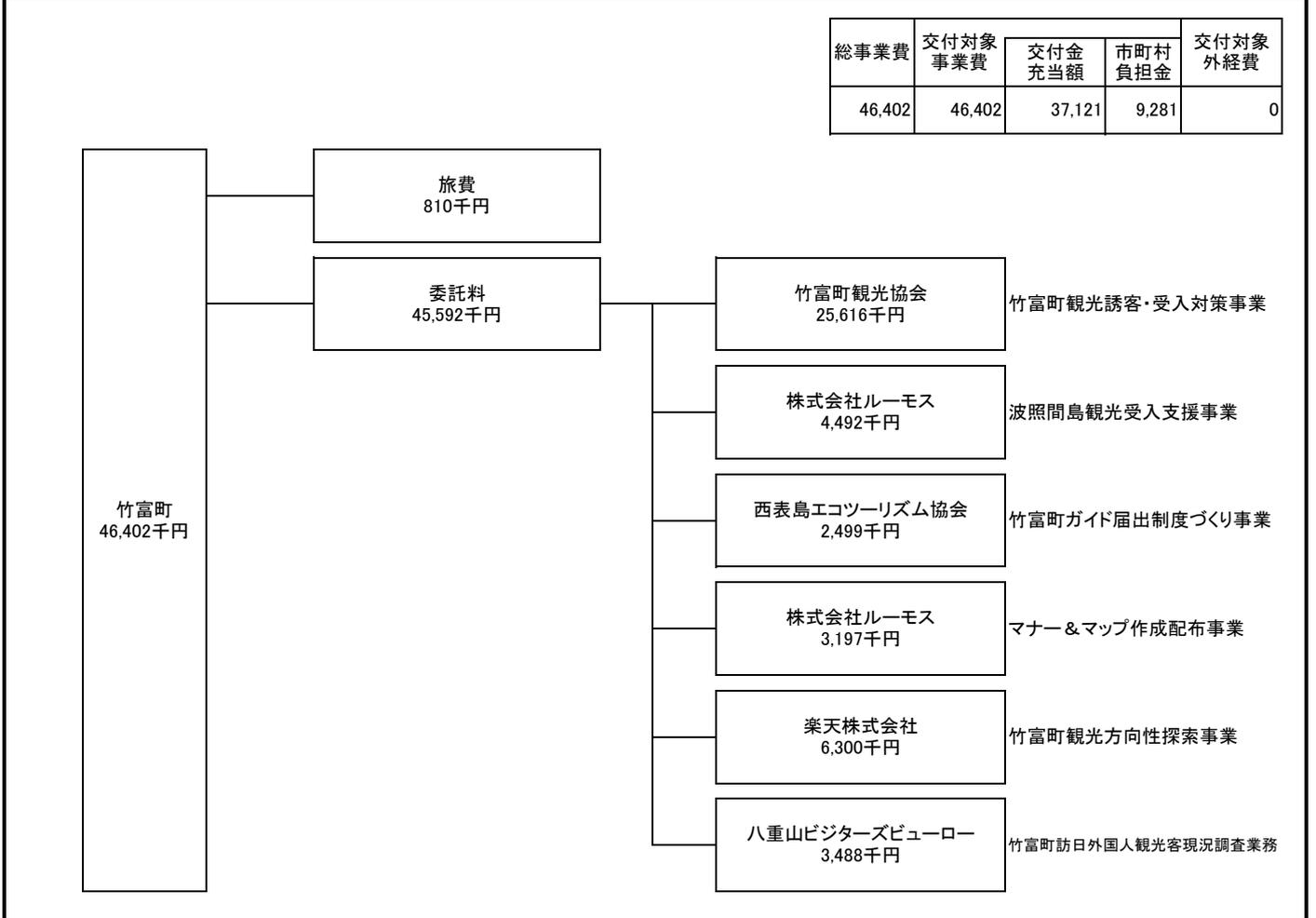
市町村名		竹富町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-① 観光誘客・受入対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	政策推進課	事業実施(予定)年度	平成26~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	本町の滞在型観光の促進を目的とした誘客宣伝活動及び受け入れ体制の強化・整備を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,321	44,248	46,058	57,026	47,259
		(b) 予算現額	43,243	33,865	44,307	48,753	47,259
		(c) 増減額(b-a)	7,922	▲ 10,383	▲ 1,751	▲ 8,273	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		43,243	33,865	44,307	48,753	47,259
	B. 執行済額		41,739	26,902	44,306	48,689	46,402
	うち交付金充当額		33,391	21,521	35,444	38,951	37,121
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		96.5%	79.4%	100.0%	99.9%	98.2%
予算の状況の説明		補正等もなく、予算内で適切に執行された。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	宿泊支援システムの運用(整備・充実)	目標	(10事業者)	(宿泊支援システムの運用実施)	(整備・充実)	(整備・充実)	
		実績	14事業者	運用・実施	整備・充実	整備・充実	
	滞在型観光関連講義の実施	目標	(講義12回)	(セミナー等開催)	(実施)	(実施)	
		実績	講義8回	講座・講義15回	星空関連講座5回	星空関連講座5回・食物アレルギーに関する講座1回	
	誘客宣伝活動	目標	(誘客宣伝6箇所)	(誘客宣伝6箇所)	(誘客宣伝5回)	(誘客宣伝5回)	
		実績	誘客宣伝9箇所	誘客宣伝6箇所	誘客宣伝5回	誘客宣伝4回	
	観光振興基本計画の策定、基礎調査の実施	目標	()	()	(策定・実施)	()	
		実績			策定・実施		
マップ&マナーブックの作成・配布	目標	()	()		(作成・配布)		
	実績				作成・配布		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊支援システムの運用については、引き続き掲載情報の整備、充実を図った。 ・滞在型観光関連講義については、1会場(小浜島)にて星空関連講座(全5回)を通して講義・テスト等を実施し、参加者を美ら星案内人に認定した。また、食物アレルギーに関する講座1回を町内の事業者に向け、石垣島にて実施し、33人が受講した。 ・誘客宣伝活動については、誘客よりも受入に重点をおくこととしたため前年度より少ない回数の実施となった。 ・マップ&マナーブックについては、H29年度に作成した「はてるまっぷ」をブラッシュアップし、外国語版も作成・配布した。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(26年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	宿泊システムを導入した事業者数の増加25事業者	目標	(7事業者)	()	(25事業者)	()	()
		実績			21事業者		
	観光客誘致活動来場動員数8万人	目標	(来場数6万人)	(来場数8万人)	(来場数8万人)	()	()
		実績		来場数8万人	来場数16.4万人		
	竹富町入域観光客数1,089,206人以上	目標	()	(客数115万人)	(客数120万人)	(客数1,080,347人以上)	(客数1,089,206人以上)
実績			客数115万人	客数107万人	客数1,079,635人	客数1,045,271人	
進捗状況説明		入域観光客数は伸びず、成果目標には届かなかった。理由としては、誘客活動を減らしたことと、周遊観光から1島滞在型観光へのシフトが考えられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・入域観光客数が減少傾向にあり、原因としては誘客宣伝活動の回数を減らしたこと、また離島巡りなどの周遊観光から滞在型観光へのシフトが考えられる。 ・平成30年度に行った「竹富町観光方向性探索事業」の調査では、島々の特徴がわからない、八重山諸島の情報量が少なく旅行先として選択しにくい、等の意見があった。 ・2020年の西表島の世界遺産登録を見据え、ガイドの質の向上が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「量より質」を目指し、引き続き誘客活動よりも受入整備に重点をおいた施策を行い、訪れた方の満足度向上を図る。 ・滞在型、着地型観光を推進するため、旅行先として選択される十分な情報の発信が必要。 ・ガイドの質の向上とサービスの平準化のための制度が必要。

今後の取り組み方針

- ・成果目標(指標)を入域観光客数ではなく、観光客の満足度へ切り替え、満足度や滞在日数把握のための調査を行う。
- ・滞在型、着地型観光を推進するため、竹富町の観光情報やルールをまとめたWEBサイトを構築し、滞在型観光に必要なとされる十分な情報を発信する。
- ・町内の貴重な自然環境の保全と活用の両立を実現し、持続的な観光地形成を行うため、ガイドの届出制度を盛り込んだ「竹富町観光案内人条例(仮)」の制定を行い、ガイドの質の向上とサービスの平準化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○竹富町観光協会、YVB、エコツーリズム協会については、それぞれ八重山観光情勢を熟知していることや町内の事業者との繋がり、また中立的な立場で事業を行えることを総合的に勘案し業務を委託できることから随意契約とした。その他委託先については、それぞれプロポーザル方式で選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不要額はほとんど発生せず、予算は適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○完了報告時に、費目や用途を検査しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	西表浦内観光施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成24~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	西表島の大自然、沖縄県で最長の浦内川や日本の滝100選に選ばれているマリユドゥの滝やカンピレーの滝などを多くの観光客に見てもらい大自然の素晴らしさを味わってもらい、また来たい、知人等にも紹介したいと思って頂けるよう観光客が安心、安全で快適な観光が出来、これまで以上に誘客を図っていく上にも遊歩道等の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当該年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R元年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,000	79,000			
		(b) 予算現額	24,840	79,000			
		(c) 増減額(b-a)	▲160	0			
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	24,840	79,000			
		B. 執行済額	24,840	78,948			
		うち交付金充当額	19,872	63,158			
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	100.0%	99.9%			
予算の状況の説明	当初予算としては事業内容を遂行し、適切な予算であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			29年度	30年度	31年度	32年度	
	遊歩道及び東屋整備(1工区)	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	トイレ整備工事	目標	()	(実施)			
		実績		実施			
デッキ設置整備工事	目標	()	(実施)	()	()		
	実績		実施				
達成状況説明	本年度予定していたトイレ及びデッキ設置の整備工事を計画通り行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	29年度	30年度	R1年度	目標値(年度)
	・H31年5月の供用開始に向けた事業の着実な実施(遊歩道、東屋設置の完了)	目標	()	(整備完了)	()	()	()
		実績		整備完了			
	観光客へのアンケートで利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			未実施		
進捗状況説明	30年度工事が年度末での完了となり、アンケート調査が実施出来なかった。						

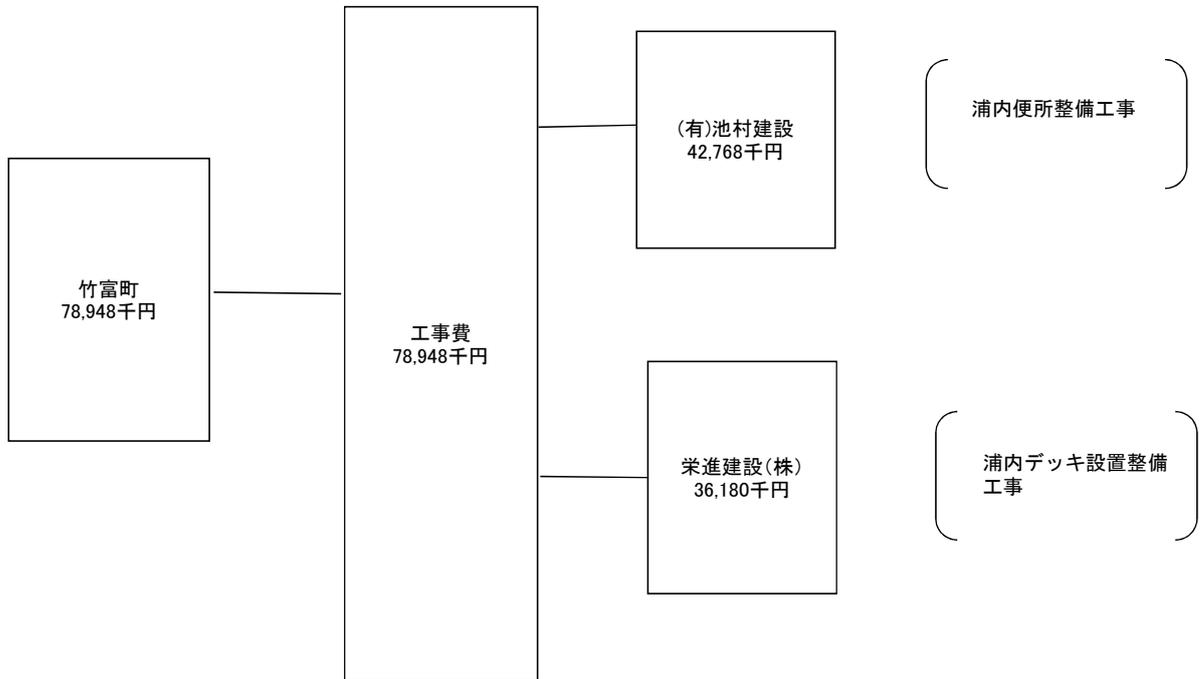
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	遊歩道、東屋は29年度で完了していますが、本事業のメイン工事であるトイレ及びデッキ設置整備工事完了後、観光客等に各施設の利用をして頂きながらアンケート調査を実施する計画でしたが工事完了が年度末にずれ込んだ為、30年度でのアンケート調査が出来なかった。	平成31年4月から各施設の供用を開始し、観光客等に各施設利用をして頂きながら利便性や、満足度等に対するアンケート調査を行う。

今後の取り組み方針

平成30年度までに計画していた全ての施設が完了しましたので、31年度において観光客等へのアンケートで利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方を検証する。アンケートの調査方法については、遊覧船の営業を行っている事業者には、観光客等へのアンケート用紙配布をお願いし記入して頂き、回収したアンケート用紙を後日取りまとめ検証する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
78,948	78,948	63,158	15,790	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は適正な規模であった。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③		加屋真島観光関連事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	まちづくり課		事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容	加屋真島は小浜島沖に位置し、観光ダイビングやキャンプ等のスポットとしての活用がなされ観光のポテンシャルとしては非常に高いものであると考えている。しかし小浜島等からの輸送に関しては船着き場が簡易的なもので決して十分とはいえない状況での活用がなされている。今後観光客の誘客を図るためにも受入体制強化の必要性は高く、ダイビングやキャンプ等の観光スポットとしての活用を含め利便性の向上が図られるよう棧橋等の施設整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当該年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,000	42,000			
		(b) 予算現額	20,520	42,000			
		(c) 増減額(b-a)	▲480	0			
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	20,520	42,000			
	B. 執行済額		20,520	39,639			
	うち交付金充当額		16,416	31,711			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.6%	94.4%			
予算の状況の説明		当初予定していたサンゴ礁移設業務が実施出来なくなった事と、設計業務等の縮小により執行残が出た。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			29年度	30年度	31年度	32年度	
	測量及び土質調査、磁気探査、潜水探査の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	測量・設計の実施				
	サンゴ礁調査移設、岩礁破碎等の同意取付の実施	目標	()	(調査・移設同意の実施)			
		実績		調査の実施			
	実施設計、土質調査、磁気探査、潜水探査の実施	目標	()	(実施)	()	()	
実績			実施				
達成状況説明	当初は、サンゴ礁移設業務も予定していたが、八重山漁業協同組合の岩礁破碎に対する同意を得る為の総会が次年度になることから、業務内容を変更し次年度予定していた船着場の設計業務を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	29年度	30年度	31年度	目標値(R4年度)
	測量及び土質調査、磁気探査、潜水探査の完了	目標	()	(測量等の完了)	()	()	()
		実績		完了			
	サンゴ礁調査移設、岩礁破碎等の同意取付の完了	目標	()	()	(調査・移設同意取付の完了)		
		実績			調査の完了		
	実施設計、土質調査、磁気探査、潜水探査の完了	目標	()	()	(完了)	()	()
		実績			完了		
【R4年成果目標】加屋真島観光入域客数		目標				2,700人以上	
進捗状況説明		当初は、サンゴ礁移設業務を予定していたが、八重山漁業協同組合の総会の日程上、業務内容を変更し船着場の設計業務を行った。礁破碎等の同意取り付けは次年度以降に行い、同意取得後サンゴ礁移設業務を行う。					

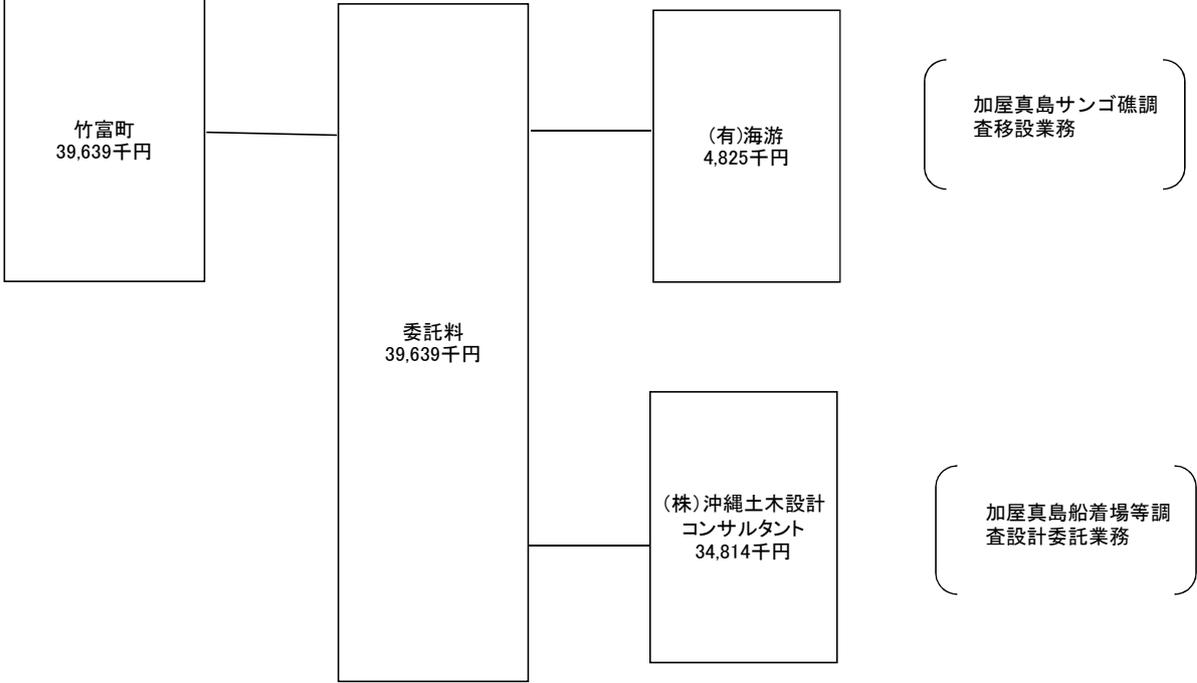
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	岩礁破碎等許可の都合により、サンゴ礁移設業務を次年行うことになり、業務内容を変更し船着場設計業務を行ったが、次年度は八重山漁業協同組合の岩礁破碎等の同意取得に取り組む。	八重山漁協の岩礁破碎等の同意を得ることで、サンゴ礁調査移設業務が出来、サンゴ礁生態系や今後の観光に悪影響を及ぼさないような工法による浚渫及び船着場の工事行う。

今後の取り組み方針

H31年度において、八重山漁業協同組合の総会において岩礁破碎等の同意が得られるよう十分な説明を行い、同意が得られれば沖縄県に岩礁破碎等許可申請を行い、許可が下り次第サンゴ礁移設業務を行い、H31年度から工事の着手が出来るよう取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
39,639	39,639	31,711	7,928	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は初年度としては、適正な規模であった。 ○費目、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町							
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	児童生徒派遣費支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(3)-ウ		
担当部署名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	多様な情報系人材の育成・確保		
事業内容	小・中学校児童生徒のスポーツ等各種大会への派遣費を支援し、負担軽減や各種大会等での貴重な体験経験を活かした人材育成により、沖縄本島と離島の格差是正を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,503	4,038	3,900	3,849	7,074	
		(b) 予算現額	5,504	4,038	3,591	5,983	6,032	
		(c) 増減額(b-a)	2,001	0	▲ 309	2,134	▲ 1,042	
		(d) 繰越額	0	0			0	
	A. 計(b+d)		5,504	4,038	3,591	5,983	6,032	
	B. 執行済額		5,122	2,917	2,835	4,219	5,628	
	うち交付金充当額		4,097	2,333	2,267	3,375	4,503	
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		93.1%	72.2%	78.9%	70.5%	93.3%	
予算の状況の説明		平成30年度より補助を希望する場合は、一括して申請をし交付決定をした為、書類等の手続きがスムーズにおこなえた。しかし、概算払いのタイミングを各種団体に任せていた為、年度末でまとめて請求するケースが多く増減などの調整が困難となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	児童生徒選手等派遣人数 592人		目標 (派遣費助成)	(派遣費助成)	(596人)	(592人)		
			実績	派遣費助成	派遣費助成	653人	976人	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	当初見込んでいた派遣人数を大きく上回り976人も児童生徒の派遣費を助成することができた。また、格差是正や保護者の負担軽減にもなり、多くの児童生徒が貴重な体験経験をし、大会等での好成績も増加している。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	【参考指標】児童生徒選手等派遣人数			(470人)	(596人)	(592人)	()	
				572人	653人	976人		
	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答割合(80%以上)を含め本事業のありかたを検証する。		目標	()	()	()	(80%以上)	()
			実績			94%		
進捗状況説明	・派遣を助成することにより、スポーツ大会や文化コンクールへの積極的な参加出場が増加した。 ・個人、団体に補助を受けた保護者へのアンケートを実施し、町内ではできない貴重な体験経験ができたとの回答が80%を上回った。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の改善点としてあげた件数増加による書類作成時の誤りや、提出時の不備については一括申請をすることにより提出回数も減少しスムーズな対応ができた。しかし、その反面、概算請求のタイミングを各種団体等に任せていた為、補助金の請求を年度末にまとめて行うケースも多く、必要額の把握が困難で結果的に不要額が過大となった。 ・保護者アンケートで得た問題点や要望等を少しでも対応できるよう調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は、大会終了後1ヶ月以内に概算払い請求をするよう依頼予定である。そうすることにより、必要経費の把握が容易となる。 ・アンケートで多くの保護者から派遣先での移動手段となっているタクシー代についても補助の対象としてほしいとの声があった。石垣市内に路線バスは運行しているが、船の到着時間や目的地によってはほとんど利用できないケースが多いため、検討調整をおこなう。

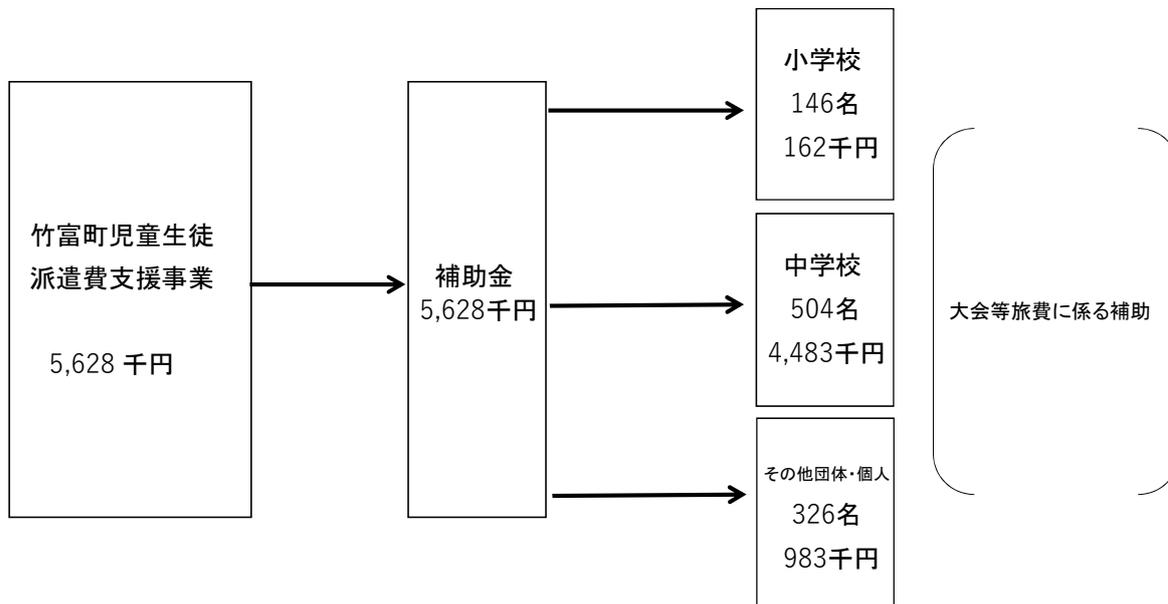
今後の取り組み方針

事業の適正な執行体制の構築が必要であるため、今後も補助金交付要綱等の見直しや、学校、地域とも連携し、これまで以上に円滑に対応できるよう努める。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,628	5,628	4,053	1,125	0



資金の流 れ、費 目・ 使途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	-	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・予算については不測の事態によって不要額が生じたが、適正な予算規模であったと考える。 ・助成対象者との関係は規則に沿って支出しているため、妥当であると考え。 ・支出先の児童生徒等(学校・各種団体・個人)には、提出書類等を検査しているため費目・使途について適正である。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	学校ICT支援員派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成26年度～30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
事業内容	児童・生徒の学習意欲等の向上を目指し、教育用PC・電子黒板・タブレットPC等のICT機器を効果的に活用した分かりやすい授業の実現を支援するため、各小中学校へICT支援員を派遣する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額		6,739	5,448	5,884	5,884	6,175
			6,739	5,876	5,885	3,244	4,752
			0	428	0	▲ 2,640	▲ 1,423
			-	-	-		
	A. 計(b+d)		6,739	5,876	5,885	3,244	4,752
	B. 執行済額		4,406	5,874	5,875	3,244	4,752
	うち交付金充当額		3,525	4,699	4,699	2,594	3,801
	次年度繰越額		0	0	-		
	執行率(%) (B/A)		65.4%	100.0%	99.8%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		指名競争入札に伴い、予算減額で落札された為、補正において1,423千円の減額。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	各学校へ月に1回の派遣	目標	(派遣実施)	(派遣実施)	(派遣実施)	(派遣実施)	
		実績	派遣実施	派遣実施	派遣実施	派遣実施	
	ICT支援員による教職員向け研修会の実施(小中学校13校×2回)	目標	(年間26回)	(年間26回)	(年間26回)	(年間26回)	
		実績	13回	156回	166回	182回	
達成状況説明	派遣計画に基づき、各校へ派遣を実施。昨年度までの課題であった冬季の船舶の欠航に伴う派遣の中止も、週に1度の教育委員会勤務日を予備日として設定し、船舶欠航時の派遣代替日として柔軟に対応した。その結果、各校年間14回の派遣でトータル182回の派遣を実施できた。 研修会の実施についても、全教職員を対象にした研修会のみでなく、個別案件や他校での事例を校内で共有するために小規模の研修会や個別の研修会を学校へ派遣する度に毎回開催してきた。そのため、派遣回数と同数の研修会の実施となり、目標値を大幅に上回った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	2日に1回以上授業でICT機器を使用する教職員数:80%以上	目標	()	(80%)	(80%)	()	()
		実績		84%	92%		
	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			97%	98%	
	教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
実績				96%	77%		
進捗状況説明	・児童生徒向けアンケートの結果は、目標を大きく上回ると共にH29に比べ実績値が上昇している。これらは教育のICT化が効果的であることを示すと共に、授業においてICT機器を効果的に活用できていると考える。 ・教員向けアンケートは、目標を下回る結果となってしまった。また、H29実績値と比較すると大きく下回る結果となっている。教員の異動等も要因として考えられる。支援員派遣を継続し、教員のICT習熟度の向上に努める必要がある。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(児童生徒の反応) ・児童生徒へのアンケートからICT機器を活用した授業が効果的であることは明白であった。今後も継続して教育の情報化を推進していく必要がある。	(児童生徒の反応) ・今後も児童生徒が分かりやすい授業が受けられるように、引き続きICT支援員の派遣を行い、教育の情報化を推進する。
	(教員の反応) ・目標値を下回ると共に、前年度の実績も大きく下回る結果となっている。教員の異動に伴いICT機器の習熟度や関心が薄い教員が配属されたことによるものとも考えられる。	(教員の反応) ・継続してICT支援員を派遣し、積極的に教員向けの研修や講習会を実施するなど、教員の意識向上を図る。また、ICTを活用した授業の実践例などの情報を収集し、教員へ提供するなどの支援も行う必要がある。

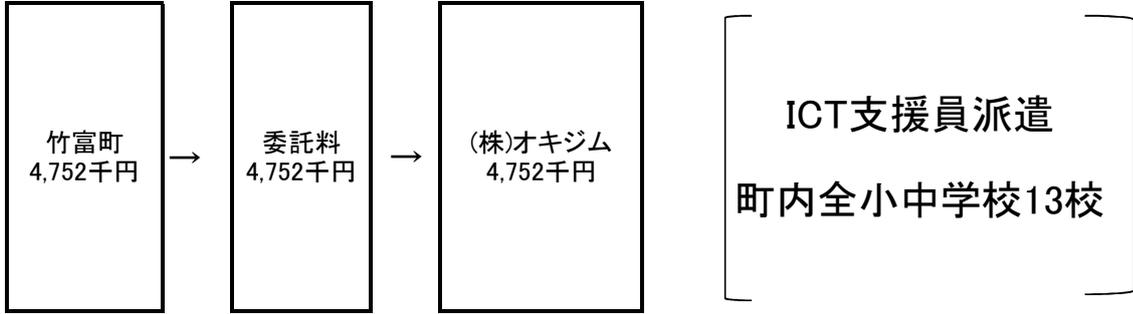
今後の取り組み方針

(児童生徒の反応)
・児童生徒の高い満足感を持続させる為にも、引き続きICT支援員の派遣を行うと共に、教育の情報化を積極的に推進していく。

(教員の反応)
・教員一人ひとりの意識向上を図ると共に、実用的な研修を実施し教員がICT活用をスムーズに行えるような支援を行う。その為にも継続的なICT支援員の派遣や支援員による研修会が必要である。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,752	4,752	3,801	951	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定にあたり指名競争入札を行った。選定は適切であった。 ○執行率100%であり適切な規模であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③		外国語指導助手派遣事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
	国際社会、情報社会に対応した教育の推進						
担当部署名	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成27年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-1
事業内容	生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の養成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,176	4,503	4,182	4,187	
		(b) 予算現額	4,175	4,181	4,182	4,187	
		(c) 増減額(b-a)	▲1	▲322	0	0	0
		(d) 繰越額	—	0	0	0	
		A. 計(b+d)	4,175	4,181	4,182	4,187	0
	B. 執行済額		4,160	4,178	4,178	4,179	
	うち交付金充当額		3,328	3,342	3,342	3,343	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		99.6%	99.9%	99.9%	99.8%	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初の予算・計画通りに事業執行ができたと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	外国語指導助手の派遣(小学校11校、幼稚園3園)		目標 (150回)	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣)	
			実績 135回	外国語指導助手の派遣	外国語指導助手の派遣	外国語指導助手の派遣 150回	
	担当教諭によるアンケート調査実施(児童のコミュニケーション能力向上の把握)		目標 ()	(アンケートの実施)	()	()	
		実績	アンケートの実施				
達成状況説明		・船舶の欠航により派遣回数は147回に留まり目標の派遣回数150回を達成できなかったが、達成率は98パーセントの為ほぼ達成できたと考え。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	幼稚園:初歩的な外国語を聞き、まねることができる。 小/低学年:初歩的な外国語を聞き理解することができる。 小/中学年:初歩的な外国語を聞き理解・答えることができる。 小/高学年:初歩的な外国語の運用(質問したり、答えたり)ができる。 担当教諭によるアンケート調査によって、児童のコミュニケーション能力の向上について検証を図る。		目標 ()	(アンケート完了)	(各年代、「よくできた・できた・できた」と回答する率80%以上)	()	()
			実績	アンケート完了	100%		
	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	()	()	(80%以上)	()
			実績			57%	
進捗状況説明		・「外国語への興味関心が高まったか」についてのアンケートの回答結果は、以下のとおりであった。 小/低学年 80%以上の児童が積極的に活動し興味関心がある(4校)、60%～80%未満の児童が積極的に活動し興味関心がある(5校) 小/中学年 80%以上の児童が積極的に活動し興味関心がある(6校)、60%～80%未満の児童が積極的に活動し興味関心がある(4校) 小/高学年 80%以上の児童が積極的に活動し興味関心がある(7校)、60%～80%未満の児童が積極的に活動し興味関心がある(4校)					

市町村名 竹富町

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名: 3-④ 家庭学習支援モデル事業
沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所: 第3章-3-(11)-イ
生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
担当部課名: 教育委員会 教育課
事業実施(予定)年度: 平成29~30年度
沖縄振興基本方針該当箇所: III-3-(1)

事業内容: 小中学生を対象に、放課後の家庭学習の支援、学力向上による人材の育成のために学校9拠点においてWeb会議システムを用いてオンライン双方向授業を行う「町営塾」を開設する。授業は現役の東京大学の学生を講師とし、質の高い学習方法を子供達へ提供することにより、単に知識のみでなく、勉強の効率化や姿勢を見つける場を提供する。また、へき地の大きな課題である教育環境の格差を解消し、中央と同じ授業を受けることが可能な環境を整備する。

効果発現年度: 当年度 [x] 後年度() ()

実施方法: 直接実施 [] 委託 [x] 補助 [] 負担 [] その他 ()

Table with columns for years (H29, H30, H31, R2, R3) and rows for budget status (a-d), execution amount, and execution rate. Includes a note: 事業実施の結果、実績額が予算より低くなり、不要額が1,488千円となった。しかし、執行率は約96%となり適切な執行であった。

Table for activity goals and achievement status. Columns: H30 activity goal, H29, H30, H31, R2. Rows: 町営学習塾の実施 (目標, 実績), 達成状況説明: 町内9拠点設置し、8拠点において町営学習塾を実施することができた。児童生徒の参加率は前年度同様の約35パーセントとなった。

Table for achievement goals and progress status. Columns: H30 achievement goal, baseline, H29, H30, H31, target. Rows: 学習塾受講率(中学生): 60%, 学習塾受講率(小学生): 60%, 町営塾で実施される年に3回の月例テストにおいて、全国と本町の平均点の差(-13点以内). Includes a note: 全国平均点と竹富町の各拠点、教科、学年ごとの点差の平均値が-15点であり、目標値に僅かながら届くことができなかった。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・受講する児童生徒の意識の向上が課題である。現場支援員からの情報では、本事業は受講料が無償のため、欠席に対する意識が低く、欠席や集中力の無さが時折見られるとのことであった。これらが点数のばらつきに繋がり、点差の広がりに影響していると考えられる。</p>	<p>・受講申込前の説明会等において、保護者や参加する児童生徒に対して注意喚起の徹底などを気をつける必要がある。月例テスト等の結果を保護者や児童生徒に説明する機会を設けるなど、意識の向上に向けた取り組みの強化によって改善されると考える。</p>

今後の取り組み方針

本事業は、H30年度をもって終了となるが、実施した2年間において、効果が現れたものとする。参加率の伸び悩みや学校との連携、受講生の意識など課題はあったが、結果として他拠点との児童生徒や講師である東京大学の学生との交流などの取引の促進、アンケートにおいて満足度が非常に高い数値であったことなど、一定の成果を上げることができた。
 今後も放課後の学習を定着できるよう、違う角度からの支援を実施していく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
40,629	40,629	32,503	8,126	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の特殊性故、業者が限られており随意契約であったが、実績もあり適切であった。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		竹富町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	竹富町和牛生産推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	優良母牛の導入支援(購入費の1/2以上上限60万円)及び口蹄疫等家畜伝染病の進入防止対策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		19,884	28,647	49,700	47,216	58,616
			31,884	47,248	49,695	55,322	58,616
			12,000	18,601	▲ 5	8,106	0
			—	0	0	0	0
	B. 執行済額		29,526	40,817	44,459	50,755	53,448
	うち交付金充当額		23,621	32,653	35,566	40,604	42,757
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		92.6%	86.4%	89.5%	91.7%	91.2%
	予算の状況の説明		導入牛の補助額が異なること、また代理購買に係る委託料(交通費等)の減により、5,168千円の不要額が発生した。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	離島港湾靴底消毒用マット設置6ヶ所 (竹富・小浜・波照間・西表東部・西表西部)	目標	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	
		実績	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	
	優良母牛導入支援	目標	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	
		実績	導入助成	導入助成	導入助成	導入助成	
達成状況説明	町内港湾6箇所に防疫マットを設置、管理委託を行い防疫対策が図れた事で伝染病等の発生が無かった。 当初導入頭数90頭に対し103頭を導入することが出来た。優良母牛に対する費用の一部を助成することで生産基盤の拡大が図れた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(H年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(令和年度)	
	・離島港湾靴底消毒用マット6箇所設置の完了 ・優良遺伝繁殖雌牛導入支援71頭 (H33年度迄導入目標750頭: H24～27年449頭導入)	目標	()	(6箇所90頭)	(6箇所71頭)	()	()
		実績		90頭	98等		
	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合	目標	()	()	()	(1.22%以上)	()
		実績				14.45%	
	進捗状況説明	平成30年度におけるセリ価格において、導入優良母牛から生まれた子牛の平均価格は707,581円で、そうでない牛の平均価格は618,224円であった。価格差を検証することが出来た。					

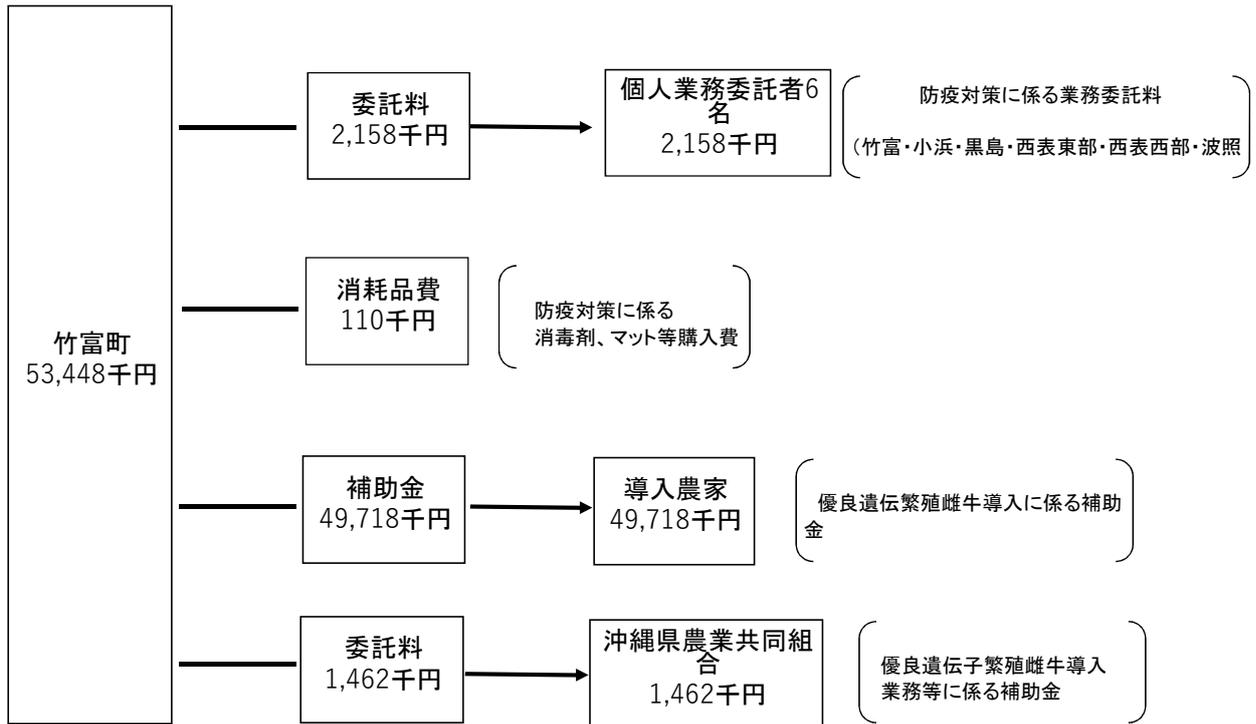
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	繁殖牛の導入補助により生産者の基盤拡大が徐々に図れてきている。しかし、導入後において人工授精を行っても受胎せず、獣医による治療も繰り返すが回復見られず、繁殖牛として不相当と診断を受ける場合もある。	導入後において繁殖牛として不相当と診断させるケースもあることから、確実に妊娠している牛も補助対象とすることを検討。

今後の取り組み方針

導入牛から生まれた子牛とそうでない牛との価格差を指標とすることで、竹富町畜産牛のブランド力の向上が図れてきているが導入牛の不妊等もあることから、妊娠牛の導入を行うことで、事故牛リスクの軽減が図れる。
繁殖牛の増頭により、伝染病に対する防疫対策は否めない為、継続的に取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
53,448	53,448	42,757	10,691	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は各地区内用牛生産組合で勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・子牛の価格の高騰が続く中ではあるが、予算的には妥当な金額であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者負担は2分の1であるが今後検討する必要がある。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名		竹富町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-ア			
	担当部署名	政策推進課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	生物多様性の保全	
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)			
事業内容	本事業は、国の特別天然記念物であり世界自然遺産登録の重要なキーポイントとなるイリオモテヤマネコの保護を目的に、島内のペットの適正飼養の推進と併せて傷病鳥獣の保護救命を実施し、世界自然遺産登録候補地であり国立公園でもある西表島の生態系や生物多様性の保全推進を図るものである。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,175	7,622	8,574	8,574	8,574
		(b) 予算現額	7,622	7,622	8,574	8,574	8,574
		(c) 増減額(b-a)	1,447	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		7,622	7,622	8,574	8,574	8,574
	B. 執行済額		7,622	7,622	8,574	8,574	8,574
	うち交付金充当額		6,097	6,097	6,859	6,859	6,859
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画どおり執行を行った。適正な予算措置であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	・逸失ペットの保護収容	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	・収容個体の各種ウイルス検査等	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	・ペット適正飼養推進会議の開催	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	・適正飼養普及啓発講演会の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	住民からの情報をもとにノラネコの保護収容を実施した。 保護収容された個体でマイクロチップによる所有者の判断ができないネコについては、西表島に常駐派遣した獣医師によるウイルス検査や避妊去勢の措置後、島外に移送した。 ペット適正使用推進会議を開催し、関係機関で今後の対策について協議を行った。 イリオモテヤマネコの保護啓発イベントでの講演や、ワクチン注射やウイルス検査を利用した普及啓発活動を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	・逸失ペットの保護収容の減少化(22頭以内) (基準年度:平成26年度~平成28年度の平均値)	目標	(22頭以内)	(10頭以内)	(10頭以内)	(23頭以内)	()
		実績		14頭	12頭	4頭	
	・収容個体の各種ウイルス検査等(全頭)	目標	()	検査等全頭実施	検査等全頭実施	()	()
		実績		検査等全頭実施	検査等全頭実施		
	・普及啓発講演会等の4回開催完了	目標	()	講演会等4回実施	講演会等4回実施	()	()
		実績		講演会等6回実施	講演会等4回実施		
	・ペット適正飼養推進会議の開催完了	目標	()	会議開催完了	会議開催完了	()	()
		実績		会議の開催完了	会議の開催完了		
	進捗状況説明	・保護収容される逸失ペット(ノラネコ)は年々減少傾向があったが、本年度は大幅に少なくなっている。 ・保護収容個体のウイルス検査を実施した結果、ネコ白血病やネコ免疫不全症等の感染症は確認されていない。現在まで、野生のイリオモテヤマネコの方にも、ペット由来の感染症は発生していない。 ・ペット適正飼養推進会議では、これまでの成果を確認するとともに、今後、完全にノラネコを無くし、感染症を無くすための意見交換を行った。 ・普及啓発の取り組みとして、本年度は直接開催案内をネコの飼い主の方々へ郵送し、西表島でネコを適切に飼うために必要な心掛けについての理解を深めていただくことができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>逸失ペット(ノラネコ)の保護収容数は大幅に少なくなっており、目撃情報も減少している。</p> <p>感染症の発生状況も、西表島島内だけ見ると非常に良い状態を維持しているが、石垣島では危険な広がりを見せているという情報もある事から、予断を許さない状況がある。</p> <p>新たに西表島にネコを持ち込む際の手続きが遅れたり、措置が十分でなかった事例もあり、ネコの登録が必要な事は周知されているものの、内容までは十分な周知がなされていなかった。</p>	<p>逸失ペット(ノラネコ)の目撃と捕獲の減少が本当に西表島全体にノラネコがいなくなっている事なのか、様々な手段で検証する必要がある。</p> <p>感染症に関しては、西表島は良い状況を作り出しているため、これを維持するためには、今後外部から西表島にネコを連れて入ってくる時点での対策が重要になってくると思われる。そのためには、西表島の住民だけでなく、外部の方々にも竹富町のネコ対策について十分な周知を図る必要がある。</p>

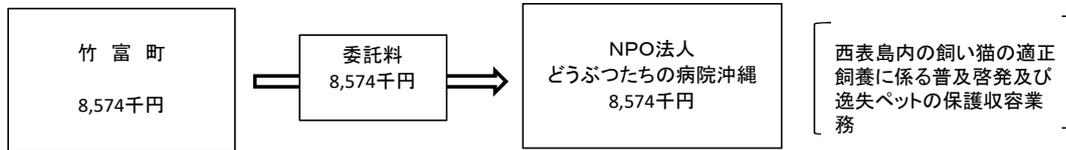
今後の取り組み方針

引き続き逸失ペット(ノラネコ)の目撃情報収集を強化するとともに、人の目が届かないような場所も機械的な装置を駆使し、この減少状況を確実なものとして確認したい。

西表島に入るネコ対策を強化するために、船舶事業者や観光関連事業の協力を得ながら港湾施設での取り組みを進めるとともに、チラシや竹富町のホームページへの掲載内容を工夫し、本町の取り組み内容の理解度を深めていただけるような改善を図りたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,574	8,574	6,859	1,715	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は随意契約であったが、業務に関する実績や知識、実施体制等を勘案して選定している。選定については妥当であったと考える。</p> <p>○見積書による予算に即して事業を実施。適正規模であったと考える。</p> <p>○事業完了時に事業目的の達成を確認しており、支出も適正であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	文化財保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会 社会文化課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-3-(2)		
事業内容	本町の有する多くの文化財美化保全を推進し、本町特有の歴史文化や景観を恒久的に維持し、歴史文化財資料及び観光資源として利活用し地域振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,994	2,930	2,930	2,800	2,800
		(b) 予算現額	2,930	1,930	2,694	2,800	2,800
		(c) 増減額(b-a)	▲64	▲1,000	▲236	0	0
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		2,930	1,930	2,694	2,800	2,800
	B. 執行済額		1,515	1,547	2,694	2,799	2,788
	うち交付金充当額		1,212	1,237	2,154	2,239	2,230
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		51.7%	80.2%	100.0%	100.0%	99.6%
予算の状況の説明		適正な予算執行であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	指定文化財16箇所の美化保全清掃の実施	目標	(国指定文化財:4箇所 県指定文化財:1箇所 町指定文化財:8箇所)	(13箇所)	(14箇所)	(16箇所)	
		実績	(国指定文化財:4箇所 県指定文化財:2箇所 町指定文化財:8箇所 国登録文化財:1箇所 その他の史跡:8箇所)	21箇所	24箇所	24箇所	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	竹富地区の公民館に文化財を11箇所・年34回、祖納地区の公民館に6箇所・年4回、波照間地区の公民館に3箇所・年12回、鳩間地区の公民館に3箇所・年5回、黒島地区は高所での作業であったため業者に委託し、文化財1ヶ所年2回実施した、集落内外、観光地等場所によって実施回数に差があるが、委託することにより高所作業箇所を除き、地域住民の手によって地域の文化財等の美化保全を実施できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	指定文化財14箇所の美化保全清掃完了	目標	()	(13箇所)	(14箇所)	()	()
		実績		21箇所	24箇所		
	文化財を活用して行う史跡めぐりの実施5回	目標	()	()	()	(実施5回)	()
		実績				未実施	
	進捗状況説明	美化保全作業を行った指定文化財をととして、地域の住民及び来町する観光者に本町の文化財を理解できる環境を提供するために、各地区史跡めぐりを行う予定であったが、コース選択ができていなかったため、竹富・祖納地区の2箇所公民館長と史跡めぐりコースの選定を行った。					

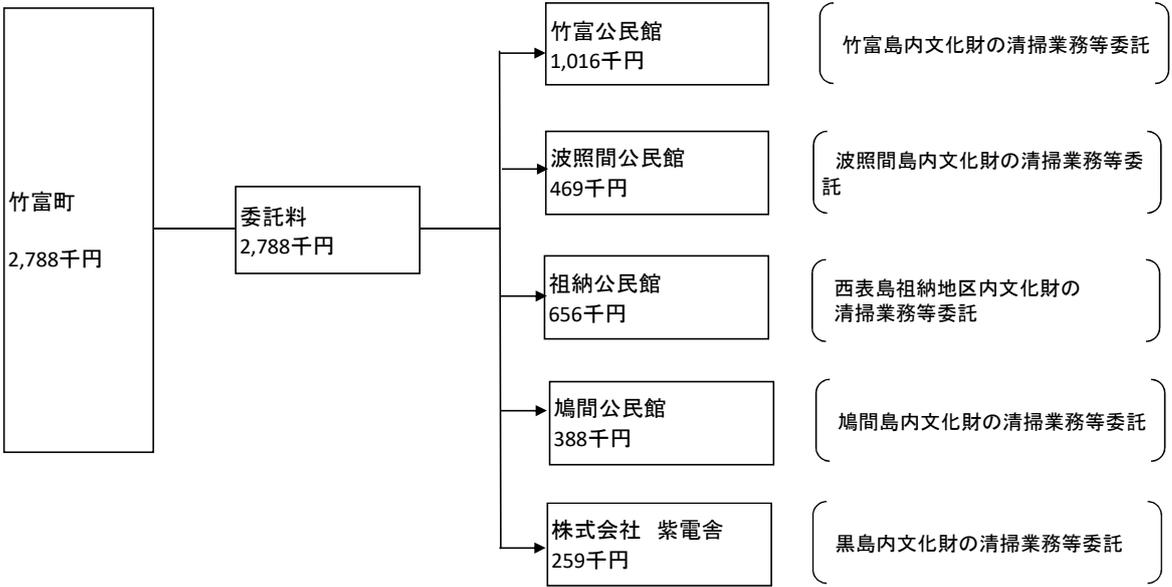
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今後も文化財の愛護意識を地域で高めてもらうため、地域公民館が実施主体となり、住民自らの手による文化財等美化保全活動を実施し、観光振興を図るため美化保全活動箇所を中心に史跡めぐりを実施する予定であったが、コースの選定がされていなかったため、竹富・祖納地区の2箇所で公民館役員と史跡めぐりコースの選定を行ったが、黒島は美化保全箇所が一箇所であったためコース選定を未実施、また、航路便が少なく冬場の天気により欠航が多い波照間、鳩間地区では日程調整が取れず、史跡めぐりコース選定ができなかった。</p>	<p>史跡めぐりコース選定を黒島地区においては美化保全実施箇所以外の文化財を入れ、また、波照間、鳩間地区は夏場の航路便欠航が少ない時期に各地区公民館と調整しコース選定を行う。 それによりコース選定を行った地区の史跡めぐりコースチラシ等を作成し、多くの竹富町民や観光者にアピールできるようにする。 また、チラシに満足度についてのアンケート集計ができるようにする。</p>

今後の取り組み方針

今後は、地域住民とも調整しながら、美化保全箇所を増やし、観光振興につながるよう文化財のさらなる利活用を促進したい。
また、美化保全事業を実施する文化財が、なるべく長期間にわたって見学に適した状況が維持できるよう、実施時期や実施方法を検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,788	2,788	2,230	558	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託先については、計画どおり地域公民館に委託して実施した。地域の文化財愛護意識の高揚を図るという観点から妥当と考えている。 ○観光客が見学するため美化保全が必要な箇所を実施を計画しており、予算規模は適正と考えている ○事業は精算払いで、費目・使途が事業目的に即したものが確認し、適切に支出した。</p>
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	